

令和4年度事業報告

1 概要

令和4年度は、「第六期中期計画」（計画期間4年）の初年度に当たり、新たなスタートアップの年である。法人・各園は、計画に掲げた『目指すべき姿（ビジョン）』の実現のため、「法人ガバナンスの改善」「当事者目線の障がい福祉」「津久井やまゆり園の再生」「秦野精華園・希望の丘はだのの経営基盤の安定化」「人財（材）の確保」「次期指定管理者募集」の6つの重点プロジェクト、法人・各園による50の重点施策等に取り組むことにより、新しいかながわ共同会の姿を内外に示すとともに、神奈川県が目指す「当事者目線の障がい福祉」「ともに生きる社会かながわ」の実現に大きく貢献していきたいとの法人の基本方針を公表した。

こうした中、昨年3月に県から募集のあった津久井、芹が谷やまゆり園の次期指定管理者選定では、昨年4月にプレゼン、6月に候補者選定、7月に県議会での指定議案の採決が行われ、当法人は津久井やまゆり園の次期指定管理者に選定されたが、芹が谷やまゆり園については、横浜市内の2社会福祉法人グループが次期指定管理者に選定されることとなった。この結果については今でも悔しい思いであるが、利用者に与える影響が少なくなるよう最大限の努力を払う一方、年度末の移管に向けた利用者支援・施設・情報等の次期指定管理者への引継ぎ、同園で働く職員の身分保障、家族会・後援会・地元への対応、業務の清算などに同園を中心に真摯に取り組んだ。こうした結果、今年3月末、次期指定管理者に同園をつつがなく引継ぐとともに、芹が谷やまゆり園の当法人による運営は今年3月31日を以て終了することとなった。

また、県が設置した「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」で論議された『神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例』が昨年9月、県議会において全会一致で可決成立し、津久井やまゆり園事件を二度と繰り返さないよう策定された『ともに生きる社会かながわ憲章』とともに、今後の県内の障害福祉に大きな影響を与える画期の出来事となった。

さらに2014年に日本政府が批准した国連の障害者権利条約の日本審査が昨年8～9月にかけてスイスのジュネーブで行われ、法的拘束力はないものの、日本の障害者施策がパターンリズム（父権主義）に偏っているという厳しい指摘とともに、「障害児を含む障害者が施設を出て地域で暮らす権利が保障されていない」（「脱施設化」）や「分離された特別支援教育を中止」（「インクルーシブ教育」）等の勧告が行われ、県内の障害福祉関係者に大きな影響を与えた。

こうした内外の情勢の下、法人・各園は「第六期中期計画」の実現に努めた結果、重プロ1「法人ガバナンスの改善」では「理事長と職員との意見交換の実施」「外部コンサルテーションの積極的活用」等で成果を上げる一方、重プロ2「当事者目線の障害福祉」では「人材育成の充実と職場風土の改善」「寮・ユニット玄関錠等の推進」「支援改善担当理事による支援改善の推進」等に着手・推進するほか、重プロ3「津久井やまゆり園の再生」、重プロ4「秦野精華園・希望の丘はだのの経営基盤の安定化」、重プロ5「人財（材）の確保」に引続き努力するなど各種施策の着実な実施に取り組んだ。

しかし、法人経営では、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響等から利用者の確保が思うように回復せず、加えてウクライナ紛争をきっかけとした世界経済の混乱による諸物価高騰の波が法人・各園を襲い、年度後半に一部公的助成はあったものの、法人全体では年度当の3,500万円の人件費取崩と固定資産の減価償却費を含めると、赤字決算は必至となる厳しい法人運営となった。

なお、新型コロナウイルス感染症については、昨年2月に猛威を振るった第6波が全国

的に減少に転じる中、法人・各園ともワクチン接種等の感染対策を鋭意進めた結果、昨年6月までは法人全体で1けた台の感染者数で抑えていた。しかし、昨年7月以降、感染力のより強いオミクロン株BA.5への置き換わりが進む中、各園における感染者も拡大し始め、7月に49人感染・クラスター3件、第7波ピーク時の8月に37人感染・クラスター2件、10月に51人感染・クラスター1件、年末年始後の今年1月に34人感染・クラスター1件と感染を繰り返しながら、全国的な退潮傾向の中、2月以降、感染者は再び1けた台で推移している。

2 重点施策の取組状況

(1) 全体評価

所属 \ 評価	A	B	C	D	E	計
法人事務局	3 (15.0%)	7 (35.0%)	8 (40.0%)		2 (10.0%)	20 (100.0%)
秦野精華園	5 (62.5%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)			8 (100.0%)
厚木精華園		4 (66.6%)	2 (33.3%)			6 (100.0%)
愛名 やまゆり園		7 (77.7%)	2 (22.2%)			9 (100.0%)
津久井 やまゆり園	4 (40.0%)	4 (40.0%)		2 (20.0%)		10 (100.0%)
芹が谷 やまゆり園		8 (100.0%)				8 (100.0%)
計	12 (19.6%)	32 (52.4%)	13 (21.3%)	2 (3.2%)	2 (3.2%)	61 (100.0%)

○評価基準（法人事務局・各園共通）

評価	達成状況
A：事業計画どおり達成できた	100%以上
B：概ね達成できた	80%以上 100%未満
C：あまり達成できていない	60%以上 80%未満
D：達成できていない（未着手を除く）	60%未満
E：未着手	0%

(2) 令和4年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業厚愛津戸番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎○○○○○	重1-1 法人理念の見直し	<p>方向性・組織体制等の検討</p> <p>実施 ↔ 評価</p>	<p>①理念の点検・見直し</p> <p>・職員と意見交換等する中、その必要性については変わらさず確認済みである。</p> <p>・しかし、県が昨年10月に当事業者目録の障害福祉推進条例を公布する一方、法人も意思決定支援を加速化するなど、昨今、利用者・法人を巡る状況は大きく変わりつつある。</p> <p>・ついては、今後の方向性を見極めるため、組織体制等の検討を当面1年程度延期することとした。</p>	E	
◎	重1-2 理事会・評議員会運営の充実強化	<p>実施 ↔ 評価</p>	<p>①②理事会・評議員会運営の充実強化</p> <p>・運営諸過程に基づく報告等を厳密に施行するなど法令遵守や情報開示の徹底を実施した。</p> <p>・理事会・評議員会にける審議の法人内公開を実施した。</p>	B	
◎○○○○○	重1-3 理事長と職員との意見交換の実施	<p>実施 ↔ 評価</p>	<p>①理事長と職員の意見交換の実施</p> <p>・部長級職員との意見交換会は、1回実施した。</p> <p>・課長級～一般職員との意見交換会は、4回実施した。</p> <p>・庁が各職員との意見交換会は、1回実施した。</p> <p>・女性職員との意見交換会は、2回実施した。</p>	B	
◎○○○○○	重1-4 公正・透明な職場づくりの推進	<p>周知 ↔ 評価</p>	<p>①公正・透明な職場づくりの推進</p> <p>・昨年7月に全職員への「利用者虐待や勤務に関するアンケート」を実施し、その中で「公正・透明な職場づくり推進要綱」の認知度は、59.4パーセントで、未だに相談や通報がしにくい等と感じている者が27.1パーセントの結果であった。</p> <p>・そのため、要綱のプロロー等全職員の課内会議等で確認するとともに、窓口案内のポスター掲示や4半期ごとに庁内情報イントラ(レインボーネット)を通じて、窓口のお知らせを発信した。</p>	C	
◎○○○○○	重1-5 外部コンサルテーションの積極的活用	<p>実施 ↔ 評価</p>	<p>①困難事例に対する支援現場を支える仕組みづくりの促進【厚木】</p> <p>・県コンサルテーション事業として「意思決定支援につながる個人記録の書き方やアセスメントの取り方について」1月に研修実施。</p> <p>②専門的な支援技術の習得とチームワークの醸成【登名】</p> <p>・定期的なコンサルテーション(支援困難事例)の実施</p> <p>③権利擁護の推進と身体拘束及び虐待の防止【津久井】</p> <p>・県立障害者支援施設コンサルテーション等業務委託として、入所者の強度行動障害事例検討を計4回実施。</p> <p>・県立障害者支援施設コンサルテーション等業務委託として、当事者による施設巡回、意見交換を11月に実施。</p> <p>・津久井やまゆり園利用者支援評価委員会を設置、10月と3月に委員会を開催。外部委員の意見を聴取し、支援に反映した。</p> <p>④事故不祥事への対応と組織活性化への取組み【津久井】</p> <p>・「組織活性化のための5S活動」におけるコンサルテーション実施</p> <p>⑤権利擁護の推進と身体拘束及び虐待の防止【芦が谷】</p> <p>・県コンサルテーション事業による当事者による施設巡回・意見交換を計2回実施。</p> <p>・当事者自線推進マネージャーによるモニタリング4回実施。</p> <p>・意思決定支援の取り組みに当たり、日本意思決定支援ネットワークの講師による日々の支援と運動した研修を、定期的受講。</p>	A	全園

(2) 令和4年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業厚愛津芦番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考	
◎○○○○○重5	人財(材)の確保に向けて	<p>離職抑制への取組</p> <p>↑ 検証</p>	<p>令和4年度事業計画</p> <p>↑ 実施</p>	<p>①積極的な職員採用 4月～8月までは昨年度同様の取組みを実施した。9月以降は若が谷の指定管理選定結果を受けて、新規採用の一時休止を決定。 ②事務職員の人材確保、⑤業務の集約化とアウトソーシングの検討 毎月、総務部門の見直し検討会を実施し、総務事務の課題を整理し、人材確保のためこの総務部門の業務部門の集約化とアウトソーシングを含めた施策の検討を行なった。 ③離職抑制への取組 法人研修委員会等でメンター制度導入に向けた検討を実施し、次年度の試行の枠組みを作成した。 ④法人立園の就業体制・制度の検証・検討 全国の管理職員の勤務実態調査に着手した。 ⑤理事長と女性職員の意見交換会を実施し、女性職員の働きやすい職場づくりについて検討を開始した。 ⑥給与号棟の見直し等、人事体系に係る検討を推進するため、外部コンサル導入等に着手した。</p>	C	
◎○○○○○法1	会議の見直しと効率化	<p>↑ 実施</p> <p>↑ 検証</p>	<p>↑ 実施</p> <p>↑ 検証</p>	<p>①新生活様式に適合する会議 法人内の多くの会議で、オンライン(zoom)やペーパーレスで開催する取組みを増やした。ほぼ全ての法人議会議でオンライン(zoom)を活用した会議を実施し、会議のための移動時間の短縮を図ることができた。 ②音声入力導入 理事會・評議員會、他會議で実施したが、精度にはまだ課題があり、會議進行状況の確認としての活用がメインとなった。</p>	C	
◎○○○○○法2	成年後見制度の普及啓発・推進	<p>↑ 実施</p> <p>↑ 検証</p>	<p>↑ 実施</p> <p>↑ 検証</p>	<p>①推進担当の新設 7月から後見人の実績のある非常勤職員を採用した。 ②職員研修・人材育成 令和5年度から支援の質向上を目指し成年後見制度の職員研修を実施し、法人後見事業は体制整備して中心となる職員の育成に取り組みととした。 ③各園の制度活用 預り金を後見人等に移管することを促進し、各市等の取組みとの連携や情報提供に努め、各園の活用がしやすいように進めた。 ④法人後見の推進 法人後見事業の実施目標年度を令和8年度として、実施規模・収支見込、受任事業や受任地域等の検討体制を令和5年度から整備することを法人運営會議で決定した。 ⑤利用者の通帳管理の整理 9月から各園現状のヒアリングを開始し、各園の整理を支援した。</p>	B	

(2) 令和4年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業厚愛津芦番号	重点施策名	令和4年度事業計画 実施	評価	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎○○○○○法3	ICT機器を活用した支援の効率化	<p>実施</p> <p>研修</p> <p>実施</p> <p>検証</p>	<p>実施</p> <p>検証</p>	<p>①イントラカスタマイズと記録の効率化 昨年度から継続して検討したレイバーネットの個別支援計画の新様式については、令和5年度当初から開始する新様式への改修を実施し、3月末から入力開始した。 ②記録の効率化については、レイバーネットへの記録入力を音声入力する取組みの試行を開始し、愛名生活課に試行用のiPadを配備した。 ③面会等のツール活用 引き続きiPadを使用したzoom・LINEのテレビ電話機能等でのオンライン面会を各園にて実施した。 ④面会以外では、家族会への参加・オンライン礼拝参加・動画視聴・オンラインショッピングの商品選択・園内外イベント参加等でタブレットを活用した。 8月に外部に持ち出し用タブレットの管理方法等を決定した。後期持出し用タブレットのセキュリティシステムを法人として契約した。年度末にかけ、持出し用タブレットを各園にて購入した。 ⑤介護用ICT機器の導入 ・簡易型移乗リフト・コミュニケーションロボットを導入。(厚木)・ベッドからの離床を検知するセンサーマットの導入準備を進めた。(津久井) ⑥クラウド化の推進とPC・ソフトの充実強化 昨年度一部ではあるが、クラウド化を実施しており、今後の導入について検討した。クラウドとしての活用可能性と低コスト化の取り組みとして、Gmailアカウントの無償利用化を検討した。Googlei!に対して非営利団体としての認証を行うクラウドサービスへの登録を実施し、無償化の申請を行った。 PCについては荻が谷やまゆり園にて使用していたPCを、令和5年4月以降に各園に追加配備する調整を行った。 オフィスソフトの充実について、総務部長会議や情報ネットワーク委員会にて検討し、PCの買い替えに合わせサブスクリプションタイプや最新バージョンのソフトの導入を実施した。</p>	C	
◎○○○○○法4	新しい時代に対応する人材(材)育成	<p>研修</p> <p>実施</p> <p>検証</p>	<p>実施</p> <p>検証</p>	<p>①WEB型職員研修と選択型メニューの充実 ほぼ全ての研修においてオンラインと対面の研修を組み合わせたWEB型の職員研修を実施した。 選択型メニューの実施については検討を実施したが、法人内のキャリアパスの仕組みについての見直しと整合性を図る必要があり、未着手。 ②「新たな障がい福祉」研修の実施 1月に「ともに生きる社会を考える障がい福祉研修」と題し、「その人らしい暮らし」をテーマとして映画鑑賞と、理事長・外部講師によるハネルディスカッションを実施した。</p>	C	
◎○○○○○法5	適正な経理とコンプライアンスの徹底	<p>実施</p> <p>検証</p>	<p>実施</p> <p>検証</p>	<p>①通帳の集約による経理業務の効率化 会計監査人の指導に基づき、サービス区分ごとに設けていた通帳を拠点に集約し、管理数を減らして経理業務の効率化を図った。 ②コンプライアンスの徹底 会計基準に準拠した経営処理に努めた。 ③内部監査の実施 四半期に1回内部監査を実施、一部には監事にも入って頂いた。 ④管理会計の導入 会計システムの機能を活用した経営分析を検討中である。</p>	B	

(3) 令和4年度事業計画取組状況(秦野精華園・希望の丘はだの)

事業厚愛津戸	番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎	重1-7	秦野精華園における法人理念の理解徹底と職員・利用者の意見反映機会の整備	検討 試行	6月事務局検討、7月意見照会、8月意見集約。8月23日理事長との意見交換会実施。コロナ感染防止の為集合同修関係実施出来ず。	C	施策の見直し必要 職員研修の方法見直し必要
◎	重2-6	希望の丘はだのにおける地域生活移行支援の推進、通過型施設運営の実施	実施	新規入所利用者6名、通所利用者5名受入れ。グループホーム体験利用者8名、グループホームへの地域生活移行者5名。秦野精華園からもグループホームへの地域生活移行者2名。	A	利用者ニーズを優先して推進
◎	重2-7	秦野精華園における地域生活支援の充実	達成 準備 サテライト ニーズ 調査収集	8月1日付けで今泉地区3ホーム定員15名の新築物件への移転を実施、併せて3ホームを同性ホームへと再編。 ・数年先に契約満期を迎えるホームオナーナーへ建て替え等の意向打診を実施し、大規模修繕と建て替え見積もり等を要求。 ・平行して他ホームオナーナーに新規ホームの建設意向を打診し返事待ち。 ・サテライト利用希望の面接調査を実施。希望者数名の意向を確認し、先行取組み法人への見学等を実施。大根地区にて不動産業者への物件相談を実施。	A	3ホーム一度の移転は準備から引越し等まで対応困難であった。利用者の生活環境を整備としてより快適な住居の提供を推進したい。
◎	重4	秦野精華園・希望の丘はだのの経営基盤の安定化	実施 加算申請 電気契約 見直し ボイラ 管理重直 し 非常勤労 働者の募 集 支援体制 の検討	加算導入 ・秦野精華園での栄養ケアマネージメント加算の導入。 ・希望ユニット加算の導入。 コスト削減 ・電気提供業者変更を実施 ・秦野ボイラー管理業務の委託時間の短縮を実施。 ・令和5年度の調理業者選定プロポーザルを実施 支援体制検討 ・2施設における夜勤者非常勤配置枠の拡大。 ・各施設女性ユニットへの週2種の非常勤夜勤化を実施。 ・希望の丘はだのの支援体制を検討。9月未までに生活支援への特化の試案をまとめる。令和5年度に変更を図る。	B	利用者の地域生活移行が進み定員割れが続く 加算やコスト削減、職員配置工夫の限界を見据えて大幅な支援体制の再編を令和5年度に実施
◎	秦3	就労移行支援・就労支援の充実	実施 実施 就労支援 体制の再 編検討 特化	・就労移行支援利用者5名の企業実習を支援、通所3名入所2名 ・計5名全員の就労が決定し退所。6ヵ月後より就労定着支援者として支援を継続。(5名中1名リタイア) ・就労移行支援体制の再編について園内での検討を進め、9月末までに就労移行支援については通所支援(チャレンジセンター)への機能移管)を令和5年度実施することを3月理事会にて承認頂く。	A	地域を巻き込んだ公益事業としてスタート出来た。当初の子どもの利用確保が今後の課題
◎	秦5	こども食堂の運営(みんなの食堂ラバナイスの始動)	週1 試行 団体間 調整	地元団体との協働運営で令和4年6月1日より毎週水曜日7:30～8:30の朝食支援を開始。みんなの食堂として高齢者の利用が多い。令和4年11月より1回の火曜日夕食支援の試行を開始。夕食支援18:00については3組程度の児童・生徒を含めた家族利用となっている。夕食支援の試行で今後の運営方法の検討の見直しを検討予定。	B	

(3) 令和4年度事業計画取組状況(秦野精華園・希望の丘はだの)

事業愛津芹	番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎	秦6	在宅者等地域生活継続支援としての生活介護事業の展開	<p>実施</p> <p>↑</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>・機械浴5名の方が利用。身体機能や精神安定のリハビリ的ニーズで中軽度2名の方を新規受入れ。</p> <p>・秦野精華園支援2課と協働で、在宅利用者家族のレスパイト目的の短期入所受入れを推進、5名の方の継続利用を定期待。</p> <p>・身障系利用者の短期入所利用時の機械浴による入浴を支援。</p> <p>・送迎時間が長期化した方の住所地近辺適性施設への移行支援を推進。</p>	A	<p>ひびひの展開は形と なってきた。ひまわり の利用者、ご家族の短期 を含めた定期利用 が今後の課題。</p>
◎	秦7	防災・防犯対策の充実・強化(公用車運転前・後健康チェックの導入)	<p>準備</p> <p>↑</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>・道交法の改定に対応する為、公用車運転前・後のアルコール 子エック→導入準備を進める。全職員への周知、記録表の試 案、運用の確認を進めた結果、定着を確認。</p> <p>・感染症に関してBQPを作成し、職員へ周知した。</p> <p>・外部事業所が火災にあった際に本体総務課より応援体制が スムーズに取れるよう連携の訓練を行った。</p>	A	

(5) 令和4年度事業計画取組状況(愛名やまゆり園)

事業厚愛津芹	愛津芹番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎	重2-9	厚木地区相談支援事業所の充実強化等	<p>検討</p> <p>↑</p> <p>評価</p> <p>厚木と市 統合予集 連携を 図る</p>	<p>令和4年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/29厚木精華園と今後に向けた打合せを実施。 ・9/17厚木市に相談。・9/22地域支援部長間で予算検討 ・厚木精華園が睦合地区相談支援事業所受託。(当園と協働)この事により愛名やまゆり園入所利用者(セルプの方)の計画相談が令和5年度には20名程度減少する予定。 ・厚木市自立支援協議会各プロジェクトへの基幹職員参加。 ・法人主催及び各種研修の受講(非常勤職員含め)を通し、組織全体のキャリアアップを行い、人材確保にも努めている。 	B	
◎	重2-10	愛名やまゆり園における重度・重複障害等の専門的な支援と当事者目線の支援の取組み	<p>研修実施</p> <p>↑</p> <p>評価</p> <p>園内プロジェクトの立ち上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部コンサルテーション5回(6/8、8/10、9/7、12/7、2/15)外部講師による強度行動障害に関する研修を4回(7/27、9/30、1/26、2/28)実施し、合わせて80名が参加した。 ・7/5意思決定支援に関する研修会を実施した。(10名参加) ・プロジェクト方式により継続実施。1個別支援計画、2住環境改善 3意思決定支援等・地域生活推進、4強度行動障がい支援、5日中活動とし、各プロジェクトを通して当事者目線の支援の取組みを実施した。 ・各講対応であった日中活動を合同で行えるようにして、更に拡充することを次年度に引き継いだ。 ・県の専門家派遣事業を利用して2名の利用者の地域移行に向けた意思決定支援担当者会議やホーム体験利用を行い、次年度に引き継いだ。 ・各寮での自治会活動では、主に、コロナ禍における余暇活動の希望、食事、おやつ、園内での季節行事についての意見や希望が多く、支援に反映させるよう取組んだ。 	B	
◎	重6	愛名やまゆり園の次期指定管理者募集提案に向けて	<p>検討</p> <p>↑</p> <p>検討</p> <p>プロジェクトチーム検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期に次年度当初からプロジェクトチーム立ち上げの必要性を確認したため、後半に前倒してメンバーの選出を行った。 	B	
◎	愛2	加齢や障害の重度化に伴う寮間移行・生活環境等の見直し	<p>検討</p> <p>↑</p> <p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所利用者全員のヒアリングシートの作成し、個々のアセスメント評価に利用しました。 ・6/28労働安全衛生委員による環境チェックを実施。 ・6/28こたまま寮利用者14名に「グループホームでの暮らし」について映像で説明し、施設との違いを理解していただく時間としました。 ・各寮(6寮)の出入り口の閉鎖に向けたアセスメントを実施し、利用者の行動、ハード面等の課題について園全体の取組みとして継続する。アセスメントのための開錠試行は、寮単位の合計で23回行った。来年度については、上半期中に、全寮の開錠を目指していく。 	B	
◎	愛3	権利擁護を意識した支援の専門職の育成と働きやすい職場づくり	<p>実施</p> <p>↑</p> <p>評価</p> <p>虐待予防計画前中期計画評価 研修実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会で定期的に令和4年度の虐待防止計画の取組み状況を確認した。 ・毎月行動制限判定会議の開催を行い、3名の身体拘束軽減に向けた支援方法について検討した。 ・6/30/20今井支援担当理事来園し、見学、意見交換実施。 ・コンサルテーション事業では、講師によるスキルアップを目的に、5回のべ33名が参加しました。 	B	
◎	愛5	飯山地区日中活動センター、しらくりにおける入所施設との連携等	<p>検討</p> <p>↑</p> <p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、具体的な話しには進まず。 ・当事者目線プロジェクトと連携をし、体験利用等積極的な受け入れを行っていく事を確認。 	C	

(5) 令和4年度事業計画取組状況(愛名やまゆり園)

事業厚愛津芹	番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎	愛6	グループホームの再整備	<p>検討</p> <p>評価</p> <p>検討</p> <p>決定</p> <p>検討</p> <p>コロナ 受入の 継続 確保</p>	<p>令和4年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員の業務分担の見直しを行い、後期より雇用形態の見直しを図った。 次年度ココホーム契約期間満了となるため、今後について課会議にて検討を行っている。次年度5月に大家と2年ごとの契約更新と平屋建てグループホームの検討を依頼することとなる。 入所利用者の行身体験(七夕)。2名の参加があった。また、ハロウィンイベントにも参加があった。 在宅者2名、入所施設利用者1名が体験利用を行い令和5年度7月までに入所利用者の入居が決定。 GH利用者の加齢に伴い、高齢者施設等への移行について家族・後見人等への説明。今年度1名高齢者施設へ移行。 	B	
◎	愛7	近隣住民等を対象とするイベント等の開催と園情報発信の強化	<p>検討</p> <p>新規計画 準備</p>	<p>検討</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により新たな取組みは行えなかった。七夕、ハロウィンイベントを実施。保育園児による芋掘りを受け入れた。 イベント等を行う際は近隣にチラシをポストインしたり、直接伝えたりとコミュニケーションを図るよう取り組んでいる。 	B	
◎	愛8	地域の防災力強化に向けた取組み	<p>検討</p> <p>評価</p>	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 覚書の締結に向けて準備をしていたが、市より互いに確認取れているので必要がないとの判断を受け、締結しないこととなった。このことを受け計画から削除する。 コロナ緩和による自治会活動再開時には積極的に協力していく。 	C	

(6) 令和4年度事業計画取組状況(津久井やまゆり園)

事業厚愛津芦	番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎	重1-8	津久井やまゆり園におけるリスクマネジメントの充実・強化	<p>リスクマネジメント充実・強化</p> <p>実施</p> <p>5S活動・風通しの良い職場作り</p> <p>検証</p> <p>実施</p> <p>評価</p>	<p>令和4年度の取組状況</p> <p>①リスクマネジメント充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故不祥事研修の実施、事故不祥事防止と早期発見を周知徹底。 園内で発生した事故案件については、園の運営会議にて事故報告書に基づき担当課長より報告を行い、事故内容の検証と再発防止対策を検討。 園長からレイバンネット園内お知らせ機能を使用して、虐待や不祥事等に係るニュース記事を職員へ周知。また、重大な事件等については、園の運営会議や全体職員会議等で確認。 ②5S活動・風通しの良い職場づくり 定期的に5S委員会を開催。これまでの取組や成果について検証、次年度に向けての確認等を行う。また、10月12日に再キックオフ会を行い、これまでの5S活動の取組を発表。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・風通しの良い職場づくり ・5S活動の継続
◎	重2-11	津久井やまゆり園における当事者目線による意思決定支援の推進	<p>意思決定支援の推進</p> <p>実施</p> <p>利用者の園運営への参画</p> <p>実施</p> <p>評価</p>	<p>①意思決定支援の継続的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内に意思決定支援プロジェクトを設置し、SDM-Japan(意思決定支援ネットワーク)の協力を受けながら、芹が谷やまゆり園と共同で、個別支援計画書への意思決定支援の位置づけと、関連書式の整理を検討。 意思決定支援の担当者会議では、ご本人の望む生活の進捗状況及び今後の確認を行い、その後、グループ会議や生活課会議等にて更なる支援の確認と検討を行った。 ②利用者の園運営への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議や生活課会議等では、必要により心理担当の出席や事前に看護職員から助言を受けるなど、多職種による検討に取組んだ。 ・利用者の園運営への参画 ・ピザの会(利用者自治会)活動支援充実、納涼祭実行委員会及びびっぴーハロウィンまつりやまゆり実行委員会へびっぴーの役員参加。 ・10月からピザの会役員が園運営会議に参加し、園から議題等について説明した後、参加利用者から意見等を伺った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援の継続 ・個別支援計画の充実 ・利用者自らの意思が反映された生活の実現 ・利用者からの意見を園運営に反映
◎	重2-12	津久井やまゆり園における地域生活移行の推進と入所施設の機能の分散化	<p>地域生活移行の推進</p> <p>チャレンジ活動開始</p> <p>実施</p> <p>入所施設の機能の分散化</p> <p>通所事業所等への移行</p> <p>実施</p> <p>評価</p>	<p>①地域生活移行の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月チャレンジ活動の開始、事前の情報提供、計画の策定と実施。 GH見学:35回 GH体験:6回 生活介護事業所見学:38回 生活介護事業所体験:1回 地域貢献(チラシ配り):1回 地域交流(近隣住民):1回 社会参加(選挙投票):3回 洗濯場での作業体験:25回 ※全て延敷 <p>②入所施設機能の分散化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所利用者の外部にある生活介護(通所)の積極的な受入れ。契約者は11人。 ・在宅障がい者等の生活介護(通所)の積極的な受入れ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の地域社会との関わり ・入所施設機能の實質的な「昼夜分離」
◎	重2-13	津久井やまゆり園における権利擁護の推進と身体拘束及び虐待の防止	<p>権利擁護の推進、身体拘束及び虐待の防止</p> <p>実施</p> <p>利用者支援評価委員会の開催</p> <p>検討・準備</p> <p>達成</p> <p>評価</p> <p>10月・3月開催</p>	<p>①権利擁護の推進、身体拘束及び虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修の実施、行動制限判定会議及び虐待防止委員会を開催。 ②利用者支援評価委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・10月と3月に委員会を開催。第三者委員、オンブズマン、みどり会役員が委員として参加。園の支援に関する取組みについて報告を行い、意見を伺った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束0に向けた取組の推進 ・虐待の防止と迅速な対応の徹底

(6) 令和4年度事業計画取組状況(津久井やまゆり園)

事業年度	津戸	番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
◎		重2-14	津久井やまゆり園におけるグループホーム事業の再整備	<p>新グループホームの開設</p> <p>検討・準備</p> <p>↑</p> <p>放課後等デイサービス事業所みらいのあり方検討</p> <p>検討・準備</p> <p>↑</p> <p>7人プラン生活介護従たる事業所開設</p> <p>検討・準備</p> <p>↑</p>	<p>①新グループホームの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井やまゆり園利用者の地域生活移行の受け皿となしグループホームを令和7年度中に建物完成、令和8年度当初に開設を目指す。 グループホームねごころの移転 賃貸借契約期間は継続使用する。 <p>①放課後等デイサービス事業所みらいのあり方検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続性のある事業のあり方を検討。 生活介護事業所7人プランの従たる事業所開設 津久井やまゆり園利用者の地域生活移行の受け皿となる生活介護従たる事業所の開設に向けて検討。 	D	<ul style="list-style-type: none"> 園利用者の地域生活移行の受け皿となる施設を整備 支援者の確保が課題
◎		重2-15	津久井やまゆり園に置ける直営施設の再整備			D	<ul style="list-style-type: none"> 各直営事業の安定運営を目指す 園利用者の地域生活移行の受け皿となる施設を整備
◎		津1	津久井やまゆり園の円滑な運営と地域生活を支える拠点	<p>令和5年度以降に向けた更なる園の円滑な運営と支援サービスの向上</p> <p>実施</p> <p>↑</p> <p>達成</p>	<p>①令和5年度以降の指定管理期間に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 更なる園の円滑な運営と支援サービスの向上を目指すため、4月より主任級以上の職員が参加する「当事者目線の支援会議」を開催。各部会に分かれて課題の検証と今後の取組みについて検討。 意思決定支援・個別支援計画部会 チャレンジ活動・地域生活移行部会 在宅障者支援・支援体制の見直し部会 <p>②みどり会(家族会)・後援会との更なる連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 園からみどり会への積極的な情報発信と役員との連携を強化。また、納涼祭実行委員会及びびっぴーハッピーインまつりだやまゆり実行委員会へみどり会役員が参加。 後援会からは、園や各事業所で行う行事費用への助成や、津久井やまゆり園事件に係る追悼行事等について供花代等を助成。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園に提案した事業計画の具現化 みどり会(家族会)との密な連携。ご家族からの意見を園運営に反映
◎		津7	「ともに生きる社会がなかかわ憲章」の普及啓発、福祉教育への貢献	<p>講演会の実施、見学者の受入れ</p> <p>実施</p> <p>↑</p> <p>評価</p>	<p>①「ともに生きる社会がなかかわ憲章」の普及啓発、福祉教育への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 県職員や相模原市教職員、他法人職員を対象とした園長による講演を計8回開催。 市社協と連携し、市内中学校の生徒を対象とした園長と職員による「みんないっしょ体験講座」を計3回開催。 見学者の積極的な受入れ 民生委員や社会福祉協議会、学校関係者の施設見学等を計30回受入れ。見学者の受入れ延人数1,399人。 <p>②地域交流ソーンの解放</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元自治会行事(定期清掃・防災訓練等)への積極的な参加 地区定期清掃は5回参加、10月23日に開催された地区防災訓練に利用者・職員が参加。 相模湖地区社会福祉協議会「ちよこっポランタイム」に登録 園としてボランティア登録を行い、地区社協広報誌を利用者と職員で地域に配布。 さがみはらSDGsパートナーとしてSDGsを推進 5月にさがみはらSDGsパートナー登録証交付式に園長参加。 診療所での在宅障がい児者等の診察 外部事業所を利用する在宅障がい児者に対して、新型コロナウイルスウィルスワクチン接種を実施。 地域交流ソーンの解放 午前9:00～午後5:00(平日、土日祝日可)の間、地域の皆様にご来園いただき「地域交流ゾーン」をご利用いただけよう施設を開放。 	A	
◎		津8	開かれた施設づくりと地域貢献	<p>意思決定支援の推進</p> <p>実施</p> <p>↑</p> <p>評価</p>	<p>①地元自治会行事(定期清掃・防災訓練等)への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区定期清掃は5回参加、10月23日に開催された地区防災訓練に利用者・職員が参加。 相模湖地区社会福祉協議会「ちよこっポランタイム」に登録 園としてボランティア登録を行い、地区社協広報誌を利用者と職員で地域に配布。 さがみはらSDGsパートナーとしてSDGsを推進 5月にさがみはらSDGsパートナー登録証交付式に園長参加。 診療所での在宅障がい児者等の診察 外部事業所を利用する在宅障がい児者に対して、新型コロナウイルスウィルスワクチン接種を実施。 地域交流ソーンの解放 午前9:00～午後5:00(平日、土日祝日可)の間、地域の皆様にご来園いただき「地域交流ゾーン」をご利用いただけよう施設を開放。 	B	

(6) 令和4年度事業計画取組状況(津久井やまゆり園)

事業厚愛津芦	番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
				<p>①防災・防犯対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に新採用異動職員を対象とした消防設備・防犯設備のオリエンテーションを実施。 ・防災訓練については、火災想定訓練を年7回、地震想定訓練を年5回実施。 ・防犯訓練については、6月に警備会社へ講師を依頼し、さすまたの使い方(構え方・制圧方法)を学んだ。 ・10月に千木良地区防災訓練に園利用者・職員とグループホーム利用者・職員が参加。 <p>②感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス接種やインフルエンザワクチン接種は、当園診療所で利用者・職員を対象に実施。また、外部事業所を利用する在宅障がい児者に対してワクチン接種を実施。 ・園内感染防止対策の取組みとして、健康食生活安全委員会において感染症グッズの用意や感染症のパンフレットの配布を行い、職員の意識づけを実施。また、感染症の予防物品を定期的に確認、その後補充することで、夜間や休日でも物品の不足からくる蔓延を防げるような対策を実施。 	B	
◎	津10	防災・防犯対策、感染症対策の強化				

令和4年度事業計画取組状況(芹が谷やまゆり園)

事業年度	厚愛津 芹番号	重点施策名	令和4年度事業計画	令和4年度の取組状況	評価	備考
	◎重1-8	芹が谷やまゆり園におけるリスクマネジメントの充実・強化	<p>＜検証＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>ヒヤリハット振り返り徹底</p>	<p>ヒヤリハット、事故報告の振り返り検証をリスクマネジメント委員会で確認と同時に各課の再発防止策の実施状況をチェック。職員意見交換会を年2回実施。講を超えたグループ分けでディスカッションした。新規入所者が入所約1か月後に所在不明あり、緊急カンファレンスを連日行い、当事者目線の再発防止策に取り組む。</p>	B	
	◎重2-16	芹が谷やまゆり園における当事者目線による意思決定支援の推進	<p>＜実施＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>利用者、嗜好などをまとめたヒヤリングシート及び手がかりシートに基づく個別支援計画づくりとその実践に取り組む。利用者自治会会長が園運営会議に出席、直接意見を聞き、園長が自治会に出席して説明する等、利用者の意向を園運営に反映させるよう取り組んだ。</p>	<p>利用者の生育状況や経験、嗜好などをまとめたヒヤリングシート及び手がかりシートに基づく個別支援計画づくりとその実践に取り組む。利用者自治会会長が園運営会議に出席、直接意見を聞き、園長が自治会に出席して説明する等、利用者の意向を園運営に反映させるよう取り組んだ。</p>	B	
	◎重2-17	芹が谷やまゆり園における地域生活移行の推進・充実	<p>＜実施＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>異学、体験、通所、地域資源活用実施</p>	<p>外部資源活用(個別契約にて外出補助 マッサージ) GH見学・体験随時実施 日中の生活を他生活介護事業所利用2名、地元ケアプラザのサークルに利用者が参画。地元中学校の運動会に参加。</p>	B	
	◎重2-18	芹が谷やまゆり園における権利擁護の推進と身体拘束及び虐待の防止	<p>＜実施＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>異学、体験、通所、地域資源活用実施</p> <p>＜改善＞</p> <p>意見照会 決裁</p> <p>検討</p>	<p>支援評価委員会の発足は指定管理移管が決まり断念したが、オンブズパーソン及び第三者委員を交えた支援状況の説明及び意見交換会を実施した。虐待及び不祥事の防止研修、全職員計画的受講。人権目標の唱和、基本的な支援姿勢の重要性を繰り返し説く。</p>	B	
	◎芹1	指定管理施設の円滑な運営と地域生活を支える拠点	<p>＜改善＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>通所利用受け入れ検討 シミュレーション中</p>	<p>新規入所者選考(エントリー開始7月、選考選考9月)※コロナにより、予定が後れたが年度内に4名新規入所あり。短期入所事業では市内の新規利用者を多く受け入れたが、通所利用の検討は、指定管理移管が決まり断念した。</p>	B	
	◎芹5	開かれた施設づくりと地域貢献、福祉教育への貢献	<p>＜実施＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>通所利用受け入れ検討 シミュレーション中</p>	<p>港南区自立支援協議会参画、芹が谷小学校4年生との福祉交流(7月施設見学+利用者との名刺交換 9月利用者交流 12月よさこいソーランと合唱披露 1月一組に街頭募金活動)。芹が谷子ども食堂との交流、きずな会継続開催。</p>	B	
	◎芹6	ともに生きる社会がなかわ憲章の普及啓発	<p>＜検証＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>多目的ホール活用、芹小4年生との交流</p> <p>＜実施＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>掲示</p> <p>設置</p> <p>検討</p> <p>決裁</p> <p>継続</p>	<p>憲章及びR3.11.16当事者目線の障がい福祉実現宣言の園内掲示。R5.3ケロン広場に植樹及び看板設置。港南区、地元連合自治会地区社協、ケアプラザと協同で多目的ホールにてポッチャ交流会の際に経緯として事件から今までの歩みを説明</p>	B	
	◎芹8	防災・防犯対策の充実・強化	<p>＜実施＞</p> <p>＜評価＞</p> <p>決裁</p> <p>実施</p> <p>継続</p> <p>検討</p> <p>決裁</p>	<p>年間計画に基づいた防災・防犯訓練の実施(毎月実施)。新施設版のBCP、コロナBCP作成準備にあたる。不審者来訪訓練等防犯訓練とともに、港南区警署とはこまめに電話などで近況報告。顔の見える関係作りに取り組む。</p>	B	

3 基本施策の取組状況

(1) 法人全体

①理事会・評議員会の開催状況

理	回	会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
	評				
1		令和4年6月理事会	令和4年6月7日 13:00~15:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 身体拘束実施・改善取組状況 2 秦野精華園利用者支援検証委員会報告 3 愛名やまゆり園への随時モニタリング結果と対応 4 津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園の指定管理申請 5 県指導監査及び実地指導の結果・改善措置 6 厚木精華園、愛名やまゆり園、津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園の管理に関する基本協定書の変更 <決議事項> 1 令和3年度事業報告(案) 2 令和3年度決算(案)及び監査報告 3 会計監査人の再任及び報酬等 4 諸規程の一部改正 5 定時評議員会の開催
2		令和4年6月臨時理事会	令和4年6月16日 11:00~11:30	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園の指定管理者候補の選定結果

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
	1	令和4年定時評議員会	令和4年6月29日 10:00~12:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度事業報告(案) 2 令和3年度決算(案)及び監査報告 3 秦野精華園利用者支援検証委員会報告 4 愛名やまゆり園への随時モニタリング結果と対応 5 津久井やまゆり園及びびらが谷やまゆり園の指定管理者候補の選定結果 6 厚木精華園、愛名やまゆり園、津久井やまゆり園及びびらが谷やまゆり園の管理に関する基本協定書の変更
3		理事会報告	令和4年10月7日	書面報告	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 愛川町児童発達支援センター「ひまわりの家」の指導監査並びに同所及び愛川町指定生活介護事業所「かえでの家」の現地指導結果・改善状況
4		理事会報告	令和4年10月25日	書面報告	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 秦野精華園利用者支援検証委員会の修正報告書
5		令和4年11月理事会	令和4年11月8日 13:00~15:00	希望の丘交流ホール (オンライン併用)	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度事業計画の上半期の取組状況 2 評議員会における決算等の取扱い 3 かながわ共同会人権フォーラム2022の開催の中止について 4 県権利擁護センターからの虐待通報 5 利用者遺族代理人弁護士からの書類の送付 6 びらが谷やまゆり園指定管理交替に係る対応状況

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
					7 令和3年財政援助団体等監査の実施 <決議事項> 1 諸規程の一部改正について 2 役員賠償責任保険契約の締結 3 令和4年11月評議員会の開催
	2	令和4年11月評議員会	令和4年12月7日 15:00~17:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 令和4年度事業計画の上半期の取組状況 2 評議員会における決算の取扱い 3 かながわ共同会人権フォーラム2022開催の中止 4 県権利擁護センターの匿名通報とその対応 5 秦野精華園利用者支援検証委員会報告書の修正及び利用者遺族代理人弁護士からの書類の送付 6 令和3年財政援助団体等監査の実施
6		令和5年3月理事会	令和5年3月9日 13:00~15:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 津久井やまゆり園への随時モニタリングの結果 2 愛名やまゆり園への随時モニタリング 3 芹が谷やまゆり園の指定管理交替に係る対応状況 4 厚木精華園相談支援事業所・厚木市睦合地区相談支援事業所受託 <決議事項> 1 令和4年度資金収支第1次補正予算(案) 2 令和5年度事業計画(案)及び令和5年度資金収支当初予算(案) 3 定款の一部改正 4 諸規程の制定及び一部改正 5 希望の丘はだの就労移行支援事業の見直しによる利用定員の変更と秦野精華園チャレンジセンター(通所支援)の就労移行

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
					支援機能の移行 6 令和5年3月評議員会の開催 7 令和5年4月1日付け障障職員 員の人事異動等
	3	令和5年3月評議員会	令和5年3月17日 15:00~17:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 津久井やまゆり園への随時モニタリングの結果 2 愛名やまゆり園への随時モニタリング 3 芹が谷やまゆり園の指定管理交替に係る対応状況 4 厚木精華園相談支援事業所・厚木市睦合地区相談支援事業所受託 5 令和5年4月1日付け幹部職員の人事異動等について <決議事項> 1 令和4年度資金収支第1次補正予算(案) 2 令和5年度事業計画(案)及び令和5年度資金収支当初予算(案) 3 定款の一部改正 4 希望の丘はだの就労移行支援事業の見直しによる利用定員の変更と秦野精華園チャレンジセンター(通所支援)の就労移行支援機能の移行
7		令和5年3月臨時理事会	令和5年3月30日 10:00~11:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<決議事項> 1 津久井やまゆり園の管理に関する基本協定書(案)の締結

②施設・設備整備等

ア 秦野精華園・希望の丘はだの

法人施行	県施工
秦野誘導灯交換	なし
秦野ガス漏れ警報器交換	
秦野エア抜きヘッダー修繕	
秦野居住棟エレベーター修繕	
秦野居住棟 2F オペレーター修繕	
秦野居住棟・管理棟他照明器具修繕	

イ 厚木精華園

法人施行	県施工
管理棟 1 階 デイルームドア修繕	管理棟 1 階ファンコイルユニット他空調機更新工事
温冷配膳車 冷却ユニット交換修理	管理棟 3・地下 1 階及び体育館ファンコイルユニット他空調機更新(実施設計)
受水槽定水位弁交換修繕	管理棟 3 階活動室空調機ドレンポンプ修繕工事
居住棟 1 階 談話室 空調機修繕	管理棟、居住棟屋上防水工事
居住棟 1 階 移乗リフト修理	管理棟 1 階、居住棟 1 階見守りカメラ設置工事
管理棟 1 階 シャワー交換修繕	
体育館電灯盤改修工事	
管理棟 2 階 機械浴修理	
管理棟地階 冷蔵庫等修繕	
管理棟地階 湧水槽ポンプ修繕	

ウ 愛名やまゆり園

法人施行	県施工
居住棟 1 こだま寮玄関電気錠修理	冷凍機等更新工事 (設計)
居住棟 2-1 階せせらぎ寮電気錠修理	見守りカメラ設置
居住棟 1-居住棟 2 渡り廊下樋つまり除去	(以下、余白)
居住棟 1 機械浴槽排水工事	
居住棟 1 居室カーテンレール新設工事 (3 部屋)	

法人施行	県施工
居住棟 2-1 せせらぎ寮配膳室配膳台改修	
ボイラー蒸気ヘッター修繕	
消防設備不良に伴う修繕	
厨房炊飯器修繕	
居住棟 1 生活 1 課居室壁紙貼替（7 室）	
ボイラー噴燃ポンプ修繕	
受水槽定水位計修繕	
ボイラー燃料安定装置修繕	
温水ポンプオーバーホール	
厨房食洗器配管修理	
ガスコージェネポンプ・膨張タンク修繕	
厨房ゴトク交換	
ブラストチラー修繕	
居住棟 2-1 階せせらぎ寮天井水漏れ修繕	
真空ポンプ等交換	

エ 津久井やまゆり園

法人施行	県施工
厨房ガスフライヤー修理	厨房棟屋上空冷チラー騒音対策工事
厨房棟女性トイレ換気扇交換工事	
厨房換気扇グリスフィルター交換工事	
居住棟 1・2 階トイレ吊り戸ダンパー交換工事	

オ 芹が谷やまゆり園

法人施行	県施工
センター棟 電気コンセント、スイッチ交換	
センター棟 2 階 トイレ 出入口蝶番交換	
駐車場 コンクリートブロック破損修繕	
居住棟 電気コンセント、スイッチ交換	
N 棟 1 階、2 階 クレセント交換	
N 棟 個室トイレ スライド鍵交換	
N 棟 2 階ちどり居室 4 ソフトクローズ部品交換	
N 棟 2 階ちどり 居室防護マット設置改修	
N 棟 2 階ちどり居室 9 ソフトクローズ部品交換	
N 棟 2 階ちどり居室 8 ソフトクローズ部品交換	

法人施行	県施工
N棟2階ちどり居室10 ドアレール交換	
N棟2階こうのとり地域生活体験室ドア交換	
N棟2階こうのとりトイレ車椅子用便座交換	
N棟2階ちどりトイレ電源コード交換	
N棟2階ちどり浴室 シリンダーカバー交換	
N棟2階ちどり居室11 ドア交換	
N棟1階トイレ引き戸レールビス交換	
N棟1階つばめ居室9 ドアレール交換	
N棟1階たか洗濯室 ドアクローザー交換	
N棟1階支援員室 ドア交換 塗装補修	
N棟1階支援員前室 ドア表面補修	
N棟1階つばめ居室6 ドア表面補修	
S棟 クレセント交換	
S棟かっこう居室2 ソフトクローズ部品交換	
S棟かっこう 居室出入口扉 小窓交換	
S棟かっこう支援員室 ドア表面補修	
S棟かっこう台所 ドア表面補修	
S棟かっこう洗面室 ドア表面補修	
S棟かっこう居室9 ドア表面補修	

③人権目標と取組内容

※法人人権委員会の主導により、令和4年度は人権自己チェックリストを5月・1月の2回実施した。5月の実施結果から重点的に取組みが必要な項目を選定し、下半期の人権目標を法人内でできる限り統一して取り組む方向で実施した。(年度当初に年間で目標設定をしている園等あり)

●人権委員会・虐待防止委員会等の開催

	人権委員会、利用者自治会	虐待防止委員会
法人	人権委員会 4回	—
秦野・希望	人権研修委員会 6回 利用者自治会 6回	12回
厚木	人権委員会 12回 利用者自治会 12回 オンブズマン相談会 3回	12回
愛名	人権推進委員会 12回 オンブズマン相談会 0回	11回
津久井	あおぞら委員会 11回 利用者自治会 12回	12回
芹が谷	あおぞら委員会 11回 利用者自治会 12回	12回

④人権・権利擁護に関する研修等実績

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
法人全体	R4.5.13	虐待防止研修	各園	409名
	R4.5.20	「障害者福祉施設、障害福祉サービス事業所における障害者虐待防止法の理解と対応」 (障害者虐待防止法・虐待の定義・虐待を受けたと思われる障害者を発見した場合の通報の手順・身体拘束をやむを得ず実施する場合の三原則・風通しとよい職場づくり)等	支援部長	※各園虐待防止研修参加者の総計(アンケート提出数)
	R4.5.27		地域支援部長	
	R4.6.10		施設長	
	R4.6.17			
	R4.6.24			
	R4.7.8			
	R4.7.15			
	R4.7.22			
	R4.8.5			
サポーターズ・カレッジ 動画視聴	階層別研修(中堅・フレッシュマン) 「意思決定支援とは」 「自閉症スペクトラムの理解」 「強度行動障害とは」 「障害者の働く権利」 「自己決定・意思決定支援へのアセスメント」 「利用者意向の把握」 他	サポーターズ・カレッジ 山内 哲也氏(他) (動画視聴)	動画再生回数 2112回	
動画視聴	事故・不祥事防止研修 「ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底」	株式会社クリエイト 野崎 広治氏	447名	
R5.1.13	ともに生きる社会を考える障がい福祉研修 ・映画視聴「道草」 ・パネルディスカッション	理事長 社会福祉法人かながわ黎明会 くりのみ学園園長 今井康雅氏 社会福祉法人育桜 福祉会 法人事務局 佐野良氏	73名	
R4.4.1	新採用研修・採用前研修	理事長	28名	
R4.7.1	「理事長講話」、「虐待防止・あ	人材企画部長		
R4.10.3	おぞらプラン」、「人権・権利擁	企画研修課長		

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
	R5.2.24	護について」		
秦野精華園 希望の丘は だの	R4.5.20 ～9.9	虐待防止研修 (常勤、臨任職員)	支援部長 希望の丘施設長	9回 延べ 69名
	R4.11.10 ～12.19	非常勤研修 (虐待防止基礎研修)	支援部長 希望の丘施設長	11回 延べ 60名
	R4.4～ R5.3	サポーターズカレッジ 「障害者虐待とは」 「利用者意向の把握」等	山内氏ほか	9回 延べ 49名
厚木精華園	R5.2～R5.3	非常勤研修 「権利擁護、虐待防止について」	地域支援部長	10名
	R4.10.25	特別研修 「人権と意思決定支援～神奈川県における意思決定支援」	社会福祉法人唐池 学園 貴志園 小川 陽氏	28名
	R4.3.11	厚木地区知的障害施設連絡会・A ネット運営委員会合同研修会 「神奈川県当事者目線の推進条 例～ともに生きる社会を目指し て～」 「神奈川県版意思決定支 援ガイドライン」 「意思決定支 援取組み報告」	神奈川県 厚木市内事業所	
	R4.9～ R5.1	「神奈川県意思決定支援ガイド ライン研修」	神奈川県	5名
	R4.10～ R5.2	「神奈川県意思決定支援専門研 修」	神奈川県	1名
愛名 やまゆり園	R4.6.14	非常勤研修	園長	49名
	R4.6.23	「愛名やまゆり園の目指すも の」 「当事者目線推進検討委員会に ついて」	支援部長	

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
	R4.5 ～R4.10	虐待防止研修 「障害者虐待防止について」	支援部長	95名
津久井 やまゆり園	R4.9～ R5.1	神奈川県意思決定支援ガイドライン	神奈川県	5名
	R4.10～ R5.2	神奈川県意思決定支援実践に向けた専門研修（基礎）	神奈川県	2名
	R4.6.14 R4.8.9	津久井やまゆり園利用者意思決定支援実施要項に基づく意思決定	神奈川県	21名 13名
	R5.3.20 R5.3.23	意思決定支援チーム向け研修 意思決定支援チーム向け研修	神奈川県 神奈川県	3名 6名
	R4.9.12	意思決定支援の課題事例検討と好事例について	芹が谷やまゆり園意思決定支援Pメンバー	19名
	R4.3.29. ～3.30	非常勤研修 「津久井やまゆり園の取組み」 「権利擁護と身体拘束及び虐待の防止」虐待適切対応効果測定アンケートとあおぞらプランⅢの説明	園長 支援部長	23名
	R4.5～全12 回	虐待防止基礎研修	支援部長	全職員
芹が谷 やまゆり園	R4.11.24 R4.12.22 R5.1.19 計3/10回	意思決定支援（リスクの捉え直し）	日本意思決定支援ネットワーク 代表理事 名川 勝氏	48名
	R4.10.27	意思決定支援（実践基礎研修）	支援員	18名
	R4.11.25 R5.3.10 計2回	職員意見交流会 2回	支援員	51名

●強度行動障害支援者養成研修受講状況（令和5年3月31日現在）

（名）

園	基礎研修	実践研修
秦野・希望	3 (29)	1 (13)
厚木	3 (45)	4 (16)
愛名	5 (51)	2 (10)
津久井	19 (48)	2 (6)
芹が谷	2 (52)	2 (9)

※（ ）は現時点での資格所持者数

●喀痰吸引研修受講状況（令和5年3月31日現在）

（名）

区分	厚木	愛名	津久井	芹が谷	計
対象者	4	2	0	0	6
指導看護師	5	5	2	1	13
第三号研修	55	32	0	0	87
第一・第二号研修	1	0	0	0	1

※指導看護師：介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業（指導者講習）を修了した看護師

第三号研修：指導看護師等による講義、演習等の一定の研修を受け、特定の者に対し医療的ケアを行うことができる。

第一号・第二号研修：国が実施する研修（委託）を受講することにより、不特定多数の者に対し医療的ケアを行うことができる。

⑤利用者自治会の取組み

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園	芹が谷やまゆり園
名称	利用者自治会	厚木精華園 ひまわり会	各セクションでの 名称	ピザの会	ハンバーガーの つどい
活動日	セクションごとに 定期開催	月1回	・各セクションで 月1回	月1回	毎月第1金曜日
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・役員総選挙 (2年に1度) 令和3年度に 実施 ・役員定例会 2か月に1回、 人権研修委員会と 一緒に開催 ・本人部会参加 ・自治会総会 今年度実施なし ・園イベントへ出 店 市内一斉美化デ ー参加 ・宿矢名自治会 資源回収協力 6回実施 ・第三者委員との 面会 1回実施(12月) ・利用者勉強会 今年度実施なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課にて自治会 を開催。 ・誕生月の方のお 祝い。誕生会の ケーキ注文 ・利用者からの要 望、意見集約。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各セクションで の自治会等の開 催は月1回開催。 利用者からの要 望・苦情等を毎 月の人権推進委 員会/虐待防止 委員会に報告/ 検討し、改善に 繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・意見要望の集約 ・神奈川県や園か らのお知らせ、 提案事項に対す る議決 ・他当事者団体と の交流 ・オンブズパーソ ンへの相談 ・オンブズパーソ ンとの個別の関 り(スポーツ等) ・各ユニットでの 自治会やピザの 会で挙げた 『やってみたい こと』の企画と 実行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンバーパーガ ーのつどい会長 が会を進める 中、コミュニケ ーションの補助 をしたり、会場 設営をしたりと いった支援や、 利用者からの要 望の具体的な実 現。 ・園長が毎回出席 して直接意見を 伺う。 ・定例会の開催 (リモートで開 催)。各課であ がった意見要望 についての返答。 ・園への意見要望 を園の運営会議 に出席し直接伝 える。
役員構成	会長1名 副会長2名 書記1名(1名地域 移行し欠員のま ま)	会長1名 副会長2名	設定なし	会長1名 副会長2名 会長副会長は選挙 にて決定する。	会長1名 副会長1名 役員2名 常務1名

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園	芹が谷やまゆり園
今年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> あおぞら意見交換会 zoom 参加 自治会総会 今年度実施なし 園イベントへ出店 市内一斉美化デー参加 宿矢名自治会 資源回収協力 6回実施 第三者委員との面会 1回実施 (12月) 利用者アンケートの実施と集計 	<ul style="list-style-type: none"> 役員選出 (7月) zoom を使用しての会長選挙 (9月) 訪問販売 (年2回) 6月・12月に実施。 ラ・フェスタ、長寿の祝い、夏まつり等行事の進行や挨拶 厚木地区の利用者研修会に参加 (2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 各セクションで苦情/要望の収集機会を設けた。他に日々随時要望を記録 (ニーズ) し、集約した。毎月の人権推進委員会/虐待防止委員会に報告/検討し、改善に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 役員選出 (9月) 定例会 (5・6・89・10・12) 会長選挙演説会 (10月) 6月・10月・11月・12月にオンブズパーソン、5月に第三者委員、4月神奈川県職員が参加 ローソン移動販売 (5・6) 実施要領一部改正 (8月) プリティカフェ (10月、1月) ピザ作り (3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 (第1金曜日・毎月開催) 利用者代表の運営会議への出席 (毎月) 芹が谷移管に係る説明 (新法人代表も出席) エンパワメントの取組み (自治会で出た要望に対してすぐに取り組み力を実感していただく) 7月:好きな飲み物を飲みながらボーリングと大縄跳び。 12月:好きなおやつを食べながらクリスマス会
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所において自治会開催 地域自治会資源回収、環境美化デーへの参加 園行事における協力 利用者アンケートの作成や職員人権目標の提案検討 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者自治会総会の実施 自治会規約の改定 (自治会費、退会記念品等) 役員選挙の継続 行事 (夏まつりカラオケ大会の企画等。綿菓子機、かき氷機の購入。 	<p>各寮、各課で利用者自治会等において夏、秋のお楽しみ会や各寮でのイベントで食べたいものやアトラクションなどの候補を挙げてもらい決定していった。また、各イベントでは利用者実行委員の選出などを決めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園運営への参画 芹が谷やまゆり園の施設名称決定やシンボルマーク決定への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 園運営への参画と『声』形にする取組み。 ※上記により、コロナの中でも野球観戦や近隣への外出は感染防止対策をしたうえで実施。 指定管理者の移管の決定以後は、県障害サービス課及び次期指定管理者の幹部職員にも出席いただき、説明及び利用者の意見を聞いていただく。双方慣れていただけようサポートした。

⑥地域における公益的な取組

ア 秦野精華園・希望の丘はだの

項目	事業	取組内容
相談支援	就労等基盤整備推進事業	就労支援（移行・B型）は、9名（延べ日数57日）の企業実習を執行し、各利用者のアセスメント取得を実施した。職場適応援助者と協力のもと、令和4年度には7名が就職している。
	グループホーム等地域生活移行推進事業	ホームにおけるクラスター発生等コロナ情勢を鑑み希望の丘はだのの利用者の見学と体験入居を6名受け入れ、内3名がホーム生活へ移行、2名がホーム移行に向けて定期体験利用を継続していった。
要支援者への生活支援	就労等基盤整備推進事業（再掲）	令和4年度、就労定着支援事業への登録者数は13名で、利用者との職場の調整や面談を実施し、職場定着の支援を継続。就労定着事業の安定化の見通しが立ったことを見据え、第1号職場適応援助者事業（派遣型ジョブコーチ）について令和4年度で事業廃止とした。また、希望の丘はだの就労移行支援の機能を令和5年度より通所チャレンジセンターへ移転する事業再編実施し、就労定着支援との一体化を図る。
	通所体験	養護学校等からの通所体験は、7名の受け入れを実施。
	グループホーム等地域生活移行推進事業（再掲）	（相談支援の項に記載）
	地域生活移行推進事業	希望の丘はだのの移行支援プログラムの一環として、グループホーム体験入居を6名実施し、内3名の方をホーム新規利用者として受け入れた。
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	実施できず。
福祉教育支援	地域生活サポート人材育成事業	知的障害者ガイドヘルパー養成研修は、コロナ情勢のために令和4年度も休講とした。 中学校職場体験実習は、大根中学より18名を受け入れ。社会福祉士、保育士、教員課程実習受け入れ17名
	ボランティア育成事業	秦野市社会福祉協議会主催の「福祉人材育成の懇話会」に参加登録しているが、コロナ情勢により会合等はすべて中止。毎年、市内高校生や中学生にボランティア活動への推進活動としての活動もコロナ情勢により中止。 秦野精華園ボランティア団体に向けての交流会（研

項 目	事 業	取 組 内 容
		修会) もコロナ情勢により中止。
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	<p>年2回(夏・年末)実施される防犯パトロールに参加していたが、令和4年度もコロナ情勢により中止。</p> <p>秦野市環境美化ディーは、各町内で設定された日程で参加し、町内美化に努める。</p> <p>大根地区自治会活動への参加として年6回の資源回収活動への利用者自治会メンバーの参加を支援。</p> <p>大根地区新しい街づくり運動推進委員会、みんなの食堂☆広畑と連携協定書を取り交わし、令和4年6月みんなの食堂ラパニスを開店させた。</p> <p>秦野市福祉部生活援護課より、食糧支援事業フードファントリー開催の協力依頼があり、令和4年12月17日(土)みんなの食堂☆ラパニスを会場として開催した。</p>
災害支援	地域防災拠点施設事業	<p>秦野市との「災害時における障害者の緊急受け入れに関する協定」に則り、福祉避難所物品を50名分受け入れと保管を継続。緊急受入要請はなかった。</p>

イ 厚木精華園

項目	事業	取組内容
要支援者への生活支援	通所体験	新型コロナウイルス感染拡大防止の為実施できず。
	地域生活移行推進事業	体験利用 1名 14日
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止の為実施できず。
	コメディカルスタッフの派遣事業	新型コロナウイルス感染拡大防止の為実施できず。
福祉のまちづくり支援	成年後見制度促進事業	厚木市成年後見制度利用推進協議会への参画。
福祉教育支援	高齢者ケア支援事業	高齢者支援セミナーを8回、延べ139事業所参加。
	地域生活サポート人材育成事業	新型コロナウイルス感染拡大防止の為実施できず。
	ボランティア育成事業	新型コロナウイルス感染拡大防止の為実施できず。
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	認知症高齢者を中心として、地域住民所有の畑での野菜栽培体験に5回9名参加。 地域施設での交流に向け定期的に情報交換を実施。
災害支援	地域防災拠点施設事業	福祉避難所に発電機、投光器、ストーブ等防災用品を整備。 福祉避難所の役割を近隣住民にPR。

ウ 愛名やまゆり園

項目	事業	取組内容
相談支援	医療的ケア支援事業	相談件数 3 件
	バックアップ推進事業	NPO 法人の共同生活援助事業所を 1 件バックアップしている。
要支援者への生活支援	通所体験	地域で暮らす知的障がい者に、通所を体験利用してもらい、適応した施設の選択を可能にする。 年間 10 人まで受け入れ。 回数：2 名の方 2 回利用。
	地域生活移行推進事業	施設や地域で生活している障害者に、グループホームの生活を知ってもらい、自分らしく生活できる機会を提供する。入所施設から 1 名、地域からの 2 名の計 3 名が体験利用を行う。
	医療的ケア支援事業（再掲）	地域で生活している医療的ケアが必要な障がい児者の地域生活をサポートするために、日中一時支援事業を中心に受け入れる。必要な医療的ケアを実施したり、医療的ケアについて研修会の実施、見学等の受け入れを進める。
	短期入所体験事業	短期入所を利用予定の障害児者に、安心して利用できるよう、生活寮を日帰りで体験する機会を提供する。利用人数：0 名 延べ日数：0 日
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	専門職（臨床心理士、相談支援専門員、看護師等）を、地域の施設や学校に派遣し、障害者が安心して生活できるよう、サポートする。 応急手当普及員を作業所等へ派遣し、普通救命講習会を実施する。 福祉相談会 実施回数：0 回／人数：0 人 ケア会議 回数／14 回 心理検査 回数／0 回 普通救命講習講師派遣 回数／0 回
サービス利用料の減免支援	通所延長利用事業	通所利用後、家族の都合に合わせ、生活寮で延長利用を実施する。利用回数：0 回
福祉のまちづくり支援	バックアップ推進事業（再掲）	（相談支援の項に記載）
	ネットワーク推進事業 取りまとめ	神奈川県域の 5 圏域にある地域生活ナビゲーションセンターの事業等を事務局として取りまとめ、圏域事業調整会議を 3 回開催した。
福祉教育支援	地域生活サポート人材育成事業	知的障害者の地域生活支援に関わる職員の人権擁護意識向上を図るための研修や介護技術の向上のため

項 目	事 業	取 組 内 容
	ボランティア育成事業	<p>の研修を、対象を広く地域住民も含め開催することを目的とする。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>地域住民等にボランティア活動を推進するために、自己実現の場の提供し、ボランティアの育成を通して、地域とのつながりを、より一層深めていく。</p> <p>(夏休み) ボランティア体験、ボランティア育成事業ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	<p>地域における障害者に対する理解の促進、並びに地域で生活している障害者の潤いとなる余暇活動を提供する。</p> <p>近隣の保育園児が園内の畑で栽培した芋掘りを行った。(夏:ジャガイモ、秋:サツマイモ、参加人数合計37名)</p> <p>保育園でのクリスマス会への参加は見合わせた。</p> <p>グループホーム前での交流事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じた上で実施した。</p> <p>七夕まつり：回数1回、参加人数25名</p> <p>ハロウィンパーティー：回数1回、参加人数40名</p>
	拠点施設機能育成事業	<p>知的障害者の地域生活支援に関わる職員の人権擁護意識向上を図るための研修や介護技術の向上のための研修を、対象を広く地域住民も含め開催することを目的とする。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>
災害支援	地域防災拠点施設事業	<p>地域住民で一時避難場所の毛利台小学校に避難することが難しい方の避難場所として園の一部を使用することを、近隣の愛名自治会、厚木市危機管理課と話し合いを進め、新たな覚書等を締結することなく、現状厚木市と締結している「災害時等における避難行動要援護者の緊急受入れに関する協定書」での受入れを検討した。</p>

エ 津久井やまゆり園

項目	事業	取組内容
相談支援	強度行動障害者地域生活サポート事業	園内研修 10/18『自閉スペクトラム症～支援者としての思い』 完全有償余暇支援事業所ゆう 柳田修次氏 参加人数 28名 1/19 応用行動分析(入門編) 完全有償余暇支援事業所ゆう 柳田修次氏 参加人数 41名 2/27「ウェルビーイングってなんだろう？」 福祉の専門職としての価値に立ち返る原点回帰となる研修 参加人数 19名
要支援者への生活支援	通所体験	地域支援部「ファンファン」「そよかぜ」各事業所で、活動場所の選択肢の一つとして事業所案内をし、利用契約に結びついた方もいる。
	地域生活移行推進事業	「チャレンジ活動」を通して、法人内外のグループホームや外部の生活介護事業所の見学及び体験利用を積極的に行った。 GH見学 : 35回 GH体験 : 6回 生活介護事業所見学 : 38回 生活介護事業所体験 : 1回 地域貢献(チラシ配り) : 1回 地域交流(近隣住民) : 1回 社会参加(選挙投票) : 3回 洗濯場での作業体験 : 25回
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	応急手当普及員の資格を有する職員を、相模原市内の福祉事業所に派遣し、「すこやかサービス」(一次救命講習)を7回開催した。
福祉のまちづくり支援	強度行動障害者地域生活サポート事業	感染拡大防止のため今年度は企画実施していないが、相模原市の強度行動障害支援者養成基礎研修の講師として職員1名派遣し実践報告をした。
福祉教育支援	地域生活サポート人材育成事業	園長と職員で10月に相模原市立内出中学校、2月に相模原市立小山中学校、3月に相模原市立旭中学校で、福祉教育「みんないいひと体験講座」の講師として登壇した。

項 目	事 業	取 組 内 容
	ボランティア育成事業	相模湖地区社会福祉協議会主催の「ボランティア体験セミナー」を当園で開催。中学生 1 名の参加であったが関係者で丁寧に説明及び利用者との交流を行う。また、相模原市相模湖地区社会福祉協議会の活動に協力することになり、初回として、相模湖地区社協広報誌の配布ボランティアを津久井やまゆり園で担当し利用者・職員が近隣へ配布した。
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	「そよかぜ」「ファンファン」「みらい」それぞれを拠点にして、近隣住民・ボランティア等との交流を目的とした事業を予定していたが感染拡大防止のため中止とした。
	拠点施設機能育成事業	感染拡大防止のため今年度は企画実施していない。
災害支援	地域防災拠点施設事業	相模湖地区総合防災訓練に利用者・職員が参加。顔のみえる関係づくり及び災害時の対応を学んだ。また、地元自治会と、当園が災害時の一時避難所とすることについて協議し、令和 5 年度より位置付けていくことを確認した。

オ 芹が谷やまゆり園

項目	事業	取組内容
相談支援	強度行動障害者地域生活サポート事業	強度行動障害対策事業の見直しもあり、直接的な強行研修としての開催は見送ったが、個別支援を組み立てる中で冰山モデルを使って課題を整理していくことを委員会や支援現場で共有し、個々の職員のスキルアップと人権擁護意識の向上に繋げた。また、職員意見交換会と称した研修会を実施。職員が抱える様々な思い等を共有し、尊重しあうことで先のよりよい利用者支援に繋がられるよう取り組んだ。
要支援者への生活支援	通所体験	通所体験の受入れは行っていない。園入所利用者 2 名が外部生活介護事業所へ通所している。
	地域生活移行推進事業	グループホームや日中活動先の体験利用や見学を実施した。他法人との情報交換、また、アフターフォローの観点から、グループホームへ移行された方と連絡を取り様子を確認した。
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	意思決定支援を普及するため、神奈川県内外問わず、外部からの講師派遣依頼を受けて積極的に派遣した。 強度行動障害者支援者養成研修及びサービス管理責任者研修のファシリテーターに積極的に職員を派遣した。 応急手当普及員の資格を有する職員を、地域の福祉事業所に派遣し「一次救命講習」を開催した。
福祉教育支援	児童・生徒等福祉体験事業	近隣小学校との交流を年間 4 回、授業の枠の中で開催した。どのような目的でどのような交流を行うかを担任教諭や児童と話し合いながら開催。授業を通しての交流だったが、後日、放課後に子どもたちが遊びに来たり、一緒に募金活動を行う等の繋がりや輪が広がっていった。 地域の方々のボランティア協力も多く頂きながら園運営を進めた。近隣の方々やボランティアの方々を招いて、パラスポーツであるボッチャを通じての交流、啓発活動や当事者によりピアノやリコーダー演奏の発表機会を通じた交流も行った。
	ボランティア育成事業	ボランティア交流会を令和 5 年 3 月 11 日に実施。これまでの感謝をお伝えするとともに、継続した取組がなされるよう依頼する。 おともだちプロジェクト（学生のボランティアと子

項 目	事 業	取 組 内 容
		利用者個々をマッチングしかかわりを深めていく)活動をサポートした。学生ボランティアの研修に園職員が参加した。
	地域行事等交流事業	近隣の行事は軒並み中止となるなか、港南区ひまわりアート展については普段の取り組みの成果(作品)を自立支援協議会のフェイスブックにアップするかたちの開催となったため、作品の写真を提供し開催に協力するとともに、そのフェイスブックのリンクを園内お知らせにアップし利用者、職員が閲覧できるよう対処した。

⑦各園の地域における活動・祭り・コンサート等実施状況

●各園の地域における活動

園	活 動 例
秦野・希望	自治会資源回収への参加（利用者自治会活動） 市内一斉美化清掃（利用者自治会活動）
厚木	地域の清掃活動、地域防災組織による防災訓練への参加 等
愛名	グループホームを拠点とした七夕イベント、ハロウィンパーティー 近隣保育園児に園内の畑の芋の収穫の場を提供
津久井	<ul style="list-style-type: none"> ・柳馬場自治会清掃への参加、千木良地区防災訓練への参加 ・すこやかサービス（地域事業所向けの普通救命講習）を開催 ・ちょこっとボランティアとして、相模湖地区社協の広報誌を利用者と職員が地域の事業所やお店に配布 ・相模原市役所での事業所販売会に出店 ・相模湖地区社会福祉協議会主催「福祉のつどい」にて、出店とみゅうじっくぼうるの発表 ・相模原市社会福祉協議会みんないいひと体験講座として、市内の中学校（3校）で生徒向けの福祉教育を開催 ・園の取り組みや「ともに生きる社会かながわ憲章」をテーマとした園長による講演会を11回開催 ・園に設置された「鎮魂のモニュメント」を活用した普及啓発に取り組むため、民生委員等の団体を延べ30回見学受け入れ
芹が谷	上永谷駅周辺清掃、赤い羽根募金活動、地域ケアプラザサークル活動への参加、すこやかサービス（地域事業所向けの普通救命講習）

●各園の祭り・コンサート等（外部に公開しているもの）

園	祭り・コンサート等
秦野・希望	夏まつり並びにはばたき祭をお楽しみ会として、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設関係者のみとし、外部参加は全面中止。
厚木	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設関係者のみとし、外部参加は全面中止。
愛名	納涼祭とあいなまつりは、ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設関係者のみとし、外部参加は全面中止。
津久井	7月事件追悼式 9月納涼お楽しみ会

園	祭り・コンサート等
	<p>敬老のお祝い</p> <p>ジャズ歌手西村知恵さんによるコンサート</p> <p>10月ハッピーハロウィンイン祭りだやまゆり！</p> <p>追悼花火打ち上げ</p> <p>11月ご遺族との偲ぶ会</p> <p>相模湖交流センターにて雨宮知子さん童謡歌手コンサートに招待される。</p> <p>11月鎌倉女子大学佐藤ゼミとの交流会</p> <p>鎌倉女子大学の学生が取り組んだ、オンライン人形劇「どうぶつ学級の仲間たち」の背景画を当園利用者が作成。</p> <p>12月体育館にて Xmas コンサート(雨宮知子さん)</p> <p>ZOOMで各事業者や施設へ中継する。</p> <p>12月鎌倉女子大学共生推進フォーラムで発表</p> <p>鎌倉女子大学の学生が取り組んだ、オンライン人形劇「どうぶつ学級の仲間たち」の発表が県庁で行われ、園長と担当職員が参加。3月には、かなチャンTVにて動画が配信される。</p> <p>12月～2月 劇団かかし座によるワークショップ</p> <p>一緒に影絵を行いその様子を県のユーチューブで動画配信し、活動内容を見てもらう。</p> <p>1月相模湖地区社協ボランティア交流会</p> <p>新年会(年男年女の利用者さんのお祝い)</p> <p>2月津久井養護学校との地域交流活動</p> <p>(利用者7名と学校の生徒12名が、自然観察班と和太鼓演奏班に分かれて、それぞれ交流を深めた)</p>
芹が谷	<p>・夕涼み会(関係者のみ)・ボッチャ交流会(港南区高年齢・障害支援課、地元連合自治会、地区社協、芹が谷地域ケアプラザ等)・オータムフェス(家族等のみ)・劇団かかし座ワークショップ(影絵)</p>

⑧ 法人総合防災・防犯訓練の実施

東海地震や南海トラフ地震等の大規模地震の発生への対応として、法人では法人及び園ごとにBCPを策定し、これに基づく訓練を実施しているが、年間2回の実施について、法人全体で取り組むこととし、次のとおり実施した。

① 第1回法人総合防災・防犯訓練（メインテーマ：防災）

ア 日時 令和4年9月1日（木） 13：40～15：30

イ 訓練内容

・法人統一

安否確認メール送受信訓練（法人）法人職員639名中、340名の参加（53.2%）

防災無線通信訓練（法人） 防災デジタル無線にて各園と法人事務局との間の通信訓練。

・各園及び法人事務局

<統一重点訓練>避難誘導訓練

通信訓練、消火用散水栓取扱・消火器取扱訓練、応急手当訓練、初期消火訓練、断水想定訓練、他園からの緊急受入れ訓練

② 第2回法人総合防災・防犯訓練（メインテーマ：防犯）

ア 日時 令和4年11月25日（金） 10：00～15：00（各園により時間が異なる。）

イ 訓練目標

① 安否確認の返答率80%以上を目指す

② 防犯カメラの場所や機能を理解するような訓練

③ 不審物の発見、捜索・確認の訓練（予告メールがきている）不審物あれば利用者と職員の避難が想定される。

ウ 訓練内容

・法人統一

安否確認メール送受信訓練（法人）法人職員669名中、350名の参加（52.3%）

防災無線通信訓練

不審者対応訓練及び不審物対応訓練

・各園及び法人事務局

防犯機器使用訓練、BCPに沿った夜間想定訓練、応急手当及び避難誘導訓練、さすまたの使用実施訓練

⑧_2 新型コロナウイルス感染症BCPの作成状況

園	NO,	区分	BCP	備考
秦野	1	施設入所・生活介護・短期入所（秦野精華園）	完成	
	2	施設入所・生活介護・自立訓練・短期入所（希望の丘はだの）	完成	
	3	生活介護・就労移行 就労継続 B 型・定着（チャレンジセンター）	完成	
	4	共同生活援助	完成	
	5	生活介護・地域活動支援（ひまわり）	完成	
	6	相談支援事業所	完成	
	7	居宅介護事業所	完成	
厚木	8	施設入所・生活介護・共同生活援助	完成	
	9	生活介護（とまと）	完成	
	10	相談支援事業所	完成	
愛名	11	施設入所・生活介護	完成	
	12	共同生活援助（あいなホーム）	完成	
	13	相談支援事業所（あいな相談）	完成	
	14	就労継続支援B型（しらゆり）	完成	
	15	生活介護・児童発達支援 （愛川町事業推進課）	完成	
	16	生活介護・日中一時（飯山地区日中活動支援センター）	完成	
津久井	17	施設入所・生活介護・短期入所	完成	
	18	生活介護（そよかぜ）	完成	
	19	共同生活援助（つくいホーム）	完成	
	20	放課後等デイサービス（みらい）	完成	
	21	生活介護（寸沢嵐）	完成	
	22	相談支援事業所（ライフ）	完成	

⑨-1 令和4年度新型コロナウイルス感染症の感染者発生状況

月	4月				5月				6月			
	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)
秦野			0				0		1		1	
厚木			0			1	1				0	
愛名			0			1	1				0	
津久井		1	1				0				0	
芹が谷			0				0				0	
計	0	1	1	0	0	2	2	0	1	0	1	0

月	7月				8月				9月			
	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)
秦野	6	2	8	1	8	12	20	1			0	
厚木		1	1		5	1	6				0	
愛名	5	3	8		3	7	10	1			0	
津久井	19	6	25	1			0				0	
芹が谷	4	3	7	1		1	1				0	
計	34	15	49	3	16	21	37	2	0	0	0	0

月	10月				11月				12月			
	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)
秦野			0				0				0	
厚木			0				0				0	
愛名	37	14	51	1			0		1	2	3	
津久井			0				0		1	2	3	
芹が谷			0				0				0	
計	37	14	51	1	0	0	0	0	2	4	6	0

月	1月				2月				3月				合計			
	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)	利用者 (人)	職員 (人)	計 (人)	クラスター (件)
秦野	31	3	34	1			0				0		46	17	63	3
厚木			0				0		1		1		6	3	9	0
愛名			0				0				0		46	27	73	2
津久井			0				0				0		20	9	29	1
芹が谷			0				0				0		4	4	8	1
計	31	3	34	1	0	0	0	0	1	0	1	0	122	60	182	7

- (注) 1 感染者の発生は、最初の感染者が発生した日の属する月で掲載しています。
 そのため、クラスター発生で2か月間に渡って感染者が発生している場合、発生月に感染数を表示しています。
 2 感染者数は延べ人数ではなく、実数です。なお、クラスターの場合は、感染者のピーク時の実数としています。
 3 職員が濃厚接触者で自宅待機していて、陽性が判明した場合は対象外としています。
 4 この対象者は、グループホームなどの自主事業所も含んでいます。

⑨-2 新型コロナウイルス感染症への対応状況

園	感染予防に対する対応状況
秦野・希望	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回ワクチン接種（313名） 7/21・7/30・9/8 実施（園内） ・第5回ワクチン接種（330名） 12/1・12/8・12/10 実施（園内）
厚木	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～3回 外部にて接種 （神奈リハ・相州病院・住友内科・厚木佐藤病院） ・第4回 園内診療所にて接種 本体+GH利用者 計118名 (10/5～10/27)
愛名	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回ワクチン接種（入所・通所） 38名 期間 4/6～5/10 ・第4回ワクチン接種（入所・通所） 112名 期間 8/31～12/21 ・第5回ワクチン接種（入所・通所） 106名 期間 1/6～2/1 <p>延べ人数 256名 接種場所：神奈川リハビリテーション病院</p>
津久井	<ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン対応ワクチンについて、入所者は58名中56名が接種、未接種の2名については、1名は同意なし、1名は入所前実施。GH利用者は30名中29名が接種、未接種の1名については入所前に接種済。
芹が谷	<ul style="list-style-type: none"> 10/31 及び 11/1 入所利用者4回目のワクチンを接種。新規入所者で未接種の利用者へ随時接種。

⑩ 家族会・後援会の開催状況

●家族会の開催

園	開催回数
秦野・希望	7回（年間9回土曜日開催。4、1月中止）
厚木	4回（年間7回土曜日開催。9、1、3月中止）
愛名	2回（原則毎月1回第三土曜日開催）4、2月のみ全体会開催
津久井	7回（年間10回土曜日開催。9、12、1月中止）
芹が谷	10回（原則毎月1回第三土曜日開催。8、11園祭月中止）

●後援会の開催

園	開催回数
秦野・希望	5回
厚木	1回
愛名	1回（書面開催）
津久井	3回
芹が谷	2回 ※指定管理者移管が決定したため、令和4年度末で会を解散することを決定し、利用者のための園備品等を購入し予算全部使い切る。残金（端数）を芹が谷やまゆり園家族会に寄付した。